第十一次基本計画　実施計画（目的指向体系表）

政策目標3　良好な環境が広がり快適に暮らせるまち

施策３－１　自然との共生社会の推進

施策３－２　循環型社会の推進

施策３－３　生活排水対策の充実

施策３－４　安全でおいしい水の安定供給

施策３－５　魅力的な都市空間の創造

施策３－6　公共交通体系の充実

施策３－7　道路環境の整備

担当課		環境課・産業課
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野	1	自然との共生社会の推進
目指す姿		市民・事業者・ボランティア団体の一人一人の取組により、豊かな自然や快適な生活環境が維持・保全されている

施策３－１の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	12	12	12	12	12
達成数	6	7	8	0	0
達成率	50.0%	58.3%	66.7%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	3	3	3	3	3
達成数	1	1	1	0	0
達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

成果指標1　公害の迷惑行為に寄せられる苦情件数

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	17	17	16	16	15	件	環境課
18件	実績値	35	36	28			以下	
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

目標値の考え方：公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施することで、苦情案件への指導が減少する効果を考慮し、目標値を設定

成果指標2　愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	26	23	21	18	15	件	環境課
30件	実績値	37	42	36			以下	
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

目標値の考え方：飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施することによる効果を考慮し、目標値を設定

成果指標3　伊東市森林整備計画に基づき間伐を行った森林面積（累計）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1	目標値	16.8	18.3	19.8	22.1	累計22.8	ha	産業課
13.8ha	実績値	18.1	21.7	23.9			以上	
	評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

目標値の考え方：伊東市内の森林において、過去に実施した間伐面積の年平均が1.54haであったため、各年度の間伐実施面積を1.5ha/年として見込み、累計22.8haと設定した。

R３年度

1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・引き続き公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を実施する。

2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・引き続き飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を実施する。

3（実績評価）・R3年度目標の16.8ｈａを上回る18.1ｈａを整備し達成。Ｒ４年度も継続して整備を行っていく。
（次年度修正点）・特になし

R４年度

1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・引き続き公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を実施する。

2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・引き続き飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を実施する。

3（実績評価）・R４年度の目標値18.3haを上回る21.7haを整備し目標達成。
（次年度修正点）・令和５年度も継続して整備を行う。

R５年度

1（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた啓発等を強化する。

2（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。
（次年度修正点）・飼養している愛護動物の適切な管理をするように、広報等を通じた啓発等を強化する。

3（実績評価）・令和5年度の目標値19.8haを上回る23.9haを整備し目標を達成することができた。
（次年度修正点）・継続して森林整備を行っていく。

中間評価

1（達成状況）**D**
（実績評価）・公害に関する迷惑行為をしないように広報等を通じた啓発等を実施し、苦情件数は減少しつつあるものの、目標値を上回った。
（今後の対応）・公害に関する迷惑行為をしないように、広報等を通じた周知啓発等を強化する。

2（達成状況）**D**
（実績評価）・飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じた啓発等を実施し、苦情件数は減少傾向であるものの、目標値を上回った。
（今後の対応）・飼養している愛護動物の適切な管理をするように、県保健所と連携して広報等を通じた周知啓発等を強化する。

3（達成状況）**A**
（実績評価）・令和3年度から令和5年度の全ての年度で目標値を上回る整備を実施できた。
（今後の対応）・引き続き、伊東市森林整備計画に基づき森林整備を行っていく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）

指標数	9	9	9	9	9	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
達成数	5	6	7	0	0	
達成率	55.6%	66.7%	77.8%	0.0%	0.0%	

01　快適な生活環境の確保

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	騒音・振動・悪臭・野焼き等や愛護動物の不適切な飼育に係る市民への指導及び未然防止のための啓発活動の実施	啓発のための広報件数	R1	目標値	3	3	4	4	5	件	環境課
			3件	実績値	4	5	5				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	

年度評価

R3	0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。
R4	0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。
R5	0101 広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。

中間評価

0101（達成状況）　**A**

（実績評価）	・広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努めた。
（今後の対応）	・引き続き広報による公害及び愛護動物の不適切な飼育を防止する啓発活動を実施し、公害及び愛護動物の不適切な飼育の防止に努める。

02　愛護動物の適正飼育の推進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	愛護動物の適正な飼育方法の啓発	広報件数	R1	目標値	1	1	1	2	2	件	環境課
			1件	実績値	2	2	2				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
0202	狂犬病予防注射の接種指導	狂犬病予防注射の未接種者への督促ハガキ発送回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	環境課
			1回	実績値	1	1	1				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
0203	飼い主のいない猫（のら猫）の去勢・不妊手術に対する補助金の交付	飼い主のいない猫の去勢・不妊等手術補助金交付件数	R1	目標値	85	89	93	97	100	件	環境課
			38件	実績値	75	66	61				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成			以上	

年度評価

R3	0201 愛護動物の適正な飼育方法の啓発を実施し、愛護動物の適正な飼育をするように努めた。
	0202 狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努めた。
	0203 引き続き広報いとう等により周知啓発を実施し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図る。
R4	0201 愛護動物の適正な飼育方法の啓発を実施し、愛護動物の適正な飼育をするように努めた。
	0202 狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努めた。
	0203 広報いとう等により周知啓発を実施したが、目標を達成できなかった。今後、広報いとう以外にも、メールマガジンやSNS等を活用した周知方法を検討していく。
R5	0201 愛護動物の適正な飼育方法の啓発を実施し、愛護動物の適正な飼育をするように努めた。
	0202 狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努めた。
	0203 広報いとう等による周知啓発や去勢・不妊手術に対する補助金の要綱の改正を実施し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図ったものの、目標値には届かなかった。引き続き、広報いとう等による効果的な周知啓発を強化し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図る。

中間評価

0201（達成状況）　**A**

（実績評価）	・愛護動物の適正な飼育方法の啓発を実施し、愛護動物の適正な飼育をするように努めた。
（今後の対応）	・引き続き愛護動物の適正な飼育方法の啓発を実施し、愛護動物の適正な飼育をするように努める。

0202（達成状況）　**A**

（実績評価）	・狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努めた。
（今後の対応）	・引き続き狂犬病予防注射未接種者への督促ハガキ等により接種率向上に努める。

0203（達成状況）　**D**

（実績評価）	・広報いとう等による周知啓発や去勢・不妊手術に対する補助金の要綱の改正を実施し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図ったものの、目標値には届かなかった。
（今後の対応）	・広報いとう等による周知啓発を強化し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図る。

03　森林環境整備の促進

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	2	2	3	0	0	
達成率	50.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進	森林現地調査実施面積	R2 23.8ha	目標値	25	25	25	25	25	ha 以上	産業課
			実績値	33.9	5	29.23				
			評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				
0302 森林保全活動の支援	民間団体による森林整備面積	R2 25.6ha	目標値	25	25	25	25	25	ha 以上	産業課
			実績値	11.7	9.9	9.9				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0303 森の力再生事業の促進	森の力再生事業整備面積	R2 1.47ha	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha 以上	産業課
			実績値	0	1.86	18.72				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0304 林業に係る広報の強化	森林整備に係る事業等についてHP更新回数	R1 1回	目標値	3	3	3	3	3	回 以上	産業課
			実績値	3	3	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

- 0301 R3年度目標の２５ｈａを上回る３３．９ｈａを整備し達成、Ｒ４年度も継続して整備を行っていく。
- 0302 森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動の取組に対して支援したが目標達成には至らなかった。
- 0303 森の力再生事業を中心に整備を進めていく中で、地域住民や森林ボランティアと協働した市民参加の森づくりの推進に努めたが目標達成には至らなかった。
- 0304 目標数値である3回更新を行った。R4年度も継続して更新していく。

R4

- 0301 現地調査候補地を策定するうえで、観光施設、学校周辺の森林に絞って策定した結果、目標数値である25haを下回る結果となった。令和５年度は調査する森林を厳選し目標数値の達成をする。
- 0302 令和３年度以降、活動している民間団体が減少しているため目標数値に至らなかったが、今後も森林保全活動に取り組んでいる民間団体に対して支援していきたい。
- 0303 目標数値である1haを上回る1.86ｈａを整備をし目標を達成、令和５年度も継続して行っていく。
- 0304 目標数値である３回更新を行った。令和５年度も継続して更新していく。

R5

- 0301 令和6年度以降の森林整備箇所を策定するうえで、森林整備方針を更新し優先度の高い森林から整備することとしており、令和6年度から３か年かけて整備する箇所の現地調査を行った結果、目標を達成した。
- 0302 昨年と同様、活動団体が減少しているため目標数値に至らなかったが、今後も森林保全活動に取り組んでいる民間団体に対して支援していきたい。
- 0303 目標値を大きく上回る18.72haを整備し目標を達成した。継続して行っていく。
- 0304 目標値である3回更新を行った。継続して更新していく。

中間評価

0301（達成状況） B+

（実績評価）	・令和５年度に森林整備方針を更新し、森林整備の優先度を決定し、令和6年度から３か年かけて整備する箇所の現地調査を行った結果、目標値を上回った。
（今後の対応）	・森林整備できる箇所の選択肢を増やすため、今後も引き続き目標値を上回るよう候補地の選定及び調査を行う。

0302（達成状況） D

（実績評価）	・活動団体が減少しているため目標値に至らなかった。
（今後の対応）	・今後も森林保全活動に取り組んでいる民間団体に対して支援していきたい。

0303（達成状況） B+

（実績評価）	・令和5年度は目標指数を大きく上回る18.72haを整備し、５か年の目標値もすでに達成した。
（今後の対応）	・意欲のある企業に対し積極的に情報を提供し、森林整備を行ってもらうようにする。

0304（達成状況） A

（実績評価）	・目標値である3回更新を行った。
（今後の対応）	・令和６年度も継続して更新していく。

04　林業に関する担い手の育成	達成状況	指標数	1	1	1	1	1
		達成数	0	1	1	0	0
		達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401　計画的な森林整備事業推進による林業者の就業環境の確保	森林保全活動参加者数	R1 41人	目標値	50	50	50	50	50	人 以上	産業課
			実績値	47	57	55				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				

年度評価		
R3	0401　森林環境の保全と森林整備活動、森林支援を活用した機器の操作指導、事前環境保全啓発活動の実施を通年通して行ったが、目標値には至らなかった。R4も引き続き事業の推進を行っていく。	
R4	0401　目標数値である50人を上回る57人が森林保全活動に参加し目標達成。令和５年度も継続して行っていく。	
R5	0401　目標数値である50人を上回る55人が森林保全活動に参加し目標達成。継続して行っていく。	

中間評価		
	0401（達成状況）B+	
	（実績評価）	・森林環境の保全と森林整備活動、森林支援を活用した機器の操作指導、事前環境保全啓発活動の実施を通年通して行い、概ね目標値を上回る人が参加した。
	（今後の対応）	・森林保全活動を行っている活動者の支援を引き続き行っていく。

担当課		環境課
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野	2	循環型社会の推進
目指す姿		市民、滞在者、事業者がごみの減量・資源化と温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる

施策３－２の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	12	12	12	12	12
達成数	6	5	6	0	0
達成率	50.0%	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	2	1	0	0
達成率	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%

成果指標1	可燃ごみの排出量	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	29,696	29,548	29,399	29,250	29,101	t	環境課
		30,758ｔ	実績値	28,208	28,450	27,781				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以下	
目標値の考え方	過去の可燃ごみ量の実績を元に、今後の将来人口予測とごみの排出抑制施策や減量化施策による効果を踏まえ、目標値を設定									

成果指標2	リサイクル率（総資源化量／総ごみ量）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	18.00	18.50	19.00	19.50	20.00	%	環境課
		17.85%	実績値	18.43	18.87	18.04				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成			以上	
目標値の考え方	過去のリサイクル率を元に、市民に対する適正な分別の徹底や新たな品目の資源化施策による効果を踏まえ、目標値を設定									

R3年度	1（実績評価）	・コロナ禍による社会経済活動の縮小もあり、目標を達成した。
	（次年度修正点）	・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。
	2（実績評価）	・分別収集の定着により目標を達成した。
	（次年度修正点）	・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。
R4年度	1（実績評価）	・コロナ禍からの社会経済活動の回復により排出量は前年度より増加したが、人口減少やリサイクル意識の高まりから、目標を達成した。
	（次年度修正点）	・目標達成に向けて引き続き排出量の減量を図る。
	2（実績評価）	・分別収集の定着により目標を達成した。
	（次年度修正点）	・可燃ごみに混入されているリサイクルできるごみの一層の分別を図る。
R5年度	1（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症が２類から５類へ移行されたことにより、社会経済活動が本格的に活発化し、排出量の増加も予想されたが、目標を達成することができた。
	（次年度修正点）	・目標達成に向けて、引き続き排出量の抑制を図る。
	2（実績評価）	・ペットボトルや古紙回収量等の減少から、令和5年度は目標を達成できなかった。
	（次年度修正点）	・「環境衛生だより」やインターネット等の広報手段を用い、リサイクル意識の向上を図る。
中間評価	1（達成状況）	A
	（実績評価）	・令和3年度から令和4年度にかけては排出量が増加したが、令和5年度は2万8千ｔ以下となり大きく目標を達成することができた。
	（今後の対応）	・引き続き、排出量を減少させるための施策を推進する。
	2（達成状況）	C
	（実績評価）	・令和5年度はリサイクル率が低下してしまったが、これまでに古着の回収や使い捨てカイロの回収等によりリサイクル品目を増やしており、これらについては一定の効果があったと考えている。
	（今後の対応）	・リサイクル意識の向上を図るため、紙媒体やSNS等での訴求の方法について工夫を重ねていくとともに、資源ごみ集団回収奨励事業報奨金制度についても、機会を捉えて広報していく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）									※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
			指標数	10	10	10	10	10	
			達成数	4	3	5	0	0	
			達成率	40.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
01　ごみ発生抑制の推進		達成状況	指標数	1	1	1	1	1	
			達成数	0	0	1	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 / 担当課
0101 家庭ごみの発生を抑制するための啓発（生ごみの水切りの徹底、食材の使い切り、食品の食べきり、生ごみ処理器の購入費補助金の交付等）	生ごみ処理容器等設置費補助金交付設置数	R1 26件	目標値	30	30	30	30	30	件 以上 / 環境課
			実績値	28	29	50			
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成			

年度評価		
	R3	0101 生ごみ処理容器等設置費補助及び環境衛生協会による生ごみの水切り用具の配付による家庭ごみの抑制に努めた。
	R4	0101 「環境衛生だより」による家庭用生ごみ処理器購入補助交付の周知を図ったが、目標値を下回ったため、市内の事業所に限定している購入場所について、市外への拡大も検討していく。
	R5	0101 「環境衛生だより」（毎年度10月発行）の家庭用生ごみ処理容器購入補助制度の記事が注目されるよう工夫を凝らしたこと等により、年度後半に設置数が伸び、目標を達成することができた。

中間評価	
0101（達成状況） **B+**	
（実績評価）	・設置数もさることながら電話での問い合わせ等も増えている。家庭ごみの発生抑制に本制度がより効果を上げていると考えられる。
（今後の対応）	・これまでは生ごみ処理容器等の購入を市内販売店に限定していたが、令和６年度からはその制限を撤廃し、インターネットでの購入も可能としたことから、今後更なる家庭ごみの発生抑制が期待できる。

02　ごみの適正処理の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	0	0	1	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 / 担当課
0201 不法投棄未然防止策の一環としての看板の設置	新規看板設置件数／年　※1	R1 14件	目標値	10	10	10	10	10	件 以下 / 環境課
			実績値	20	17	23			
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成			
0202 不法投棄パトロールの強化	啓発のためのパトロール日数	R1 240日	目標値	240	240	240	240	240	日 以上 / 環境課
			実績値	239	237	324			
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成			

年度評価		
	R3	0201 不法投棄されている場所に看板、悪質な場合は防犯カメラを設置し、再発防止に努めているため、目標値に達しなかった。
		0202 年２回の静岡県統一パトロール及び業務車両運行中の不法投棄パトロールによる不法投棄の未然防止及び発見、処理を実施した。
	R4	0201 空き地等、管理が行き届かない土地が増えてきており、不法投棄が発生しやすい状況となっている。人通りが少ない地区・地域において、住民から相談があったときなど、機会をとらえて自衛手段を広報していきたい。
		0202 目標は未達成であるものの、勤務日数の制限がある中で最大限のパトロールを実施している。今後も引き続き、他の業務との兼ね合いの中で目標値を目指しつつも、パトロールの内容についてローリングしていきたい。
	R5	0201 空き地等、管理が行き届かない土地が増えてきており、不法投棄が発生しやすい状況となっている。
		0202 他の業務との調整によりパトロール日数を増やし、目標を達成することができた。

中間評価	
0201（達成状況） **D**	
（実績評価）	・看板設置件数が少ないことが望ましいが、管理が行き届かない土地が増えてきているため目標達成が難しい状況にある。
（今後の対応）	・不法投棄が発生しないように、または不法投棄が発生してしまった土地にさらに不法投棄がされないように防止することが本来の目的であることから、その点を踏まえ、件数の減少に努めたい。
0202（達成状況） **B+**	
（実績評価）	・日数の増加だけでなく、令和5年度からは「不法投棄パトロール中」である旨の車両貼付用のマグネット及びベストを備え、行政区への貸出しも行うなどパトロールを強化することができた。
（今後の対応）	・引き続き、なるべく多くの日、多くの地域においてパトロールができるよう努めていく。

※1　パトロール等の実施により、新規看板設置件数は目標値以下に留める。

03	静岡県海洋プラスチックごみ防止 ６Ｒ県民運動の推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	2	2	2	0	0		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	市主催による海岸清掃活動の実施	市主催海岸清掃実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	環境課
				実績値	1	1	1				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0302	清掃活動団体やボランティア団体主催の海岸清掃活動の支援	海岸ごみ回収回数	R1 18回	目標値	20	20	20	20	20	回以上	環境課
				実績値	26	28	23				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価		
R3	0301	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、５月の最終日曜日に各団体（人）とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。
	0302	海岸清掃活動を実施する個人、団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。
R4	0301	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、５月の最終日曜日に各団体（人）とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。
	0302	海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。
R5	0301	５月の最終日曜日に各団体（人）とともに海岸清掃を実施し、海洋プラスチックごみ等を回収した。
	0302	海岸清掃活動を実施する団体が回収したごみの収集、運搬などを支援し、活動しやすい環境の維持に努めた。

中間評価		
0301	（達成状況）	A
	（実績評価）	市主催の海岸清掃には市内の事業所や各団体等、多くの方々が参加し、確実に効果を上げることができている。
	（今後の対応）	社会的に海洋ごみへの関心も高くなっており、引き続き多くの方へ参加を呼び掛けたい。
0302	（達成状況）	A
	（実績評価）	・清掃活動団体等の活動日が土日であることが多く、ごみの収集曜日ではないことから通常では処理が困難となるところ、これらの団体と連絡を取り合うことでごみを回収することができている。
	（今後の対応）	・引き続き、清掃活動団体やボランティア団体が充実した清掃活動をできるよう支援を継続していく。

04	環境学習の充実及び温室効果ガス排出量の削減の意識啓発・普及の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	1	0	0	0	0		
			達成率	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	伊東市環境基本計画の推進	各課計画の推進実績の達成率	R1 92.9%	目標値	100	100	100	100	100	%	環境課
				実績値	85.6	88.5	63				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0402	太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及啓発	太陽光発電等導入のための補助金交付件数	R1 100件	目標値	100	100	100	100	100	件以上	環境課
				実績値	131	61	88				
				評　価	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
0403	環境学習の実施	アースキッズ等環境学習参加者	R1 847人	目標値	857	865	873	881	889	人以上	環境課
				実績値	790	571	566				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3

0401 環境基本計画に定める目標指標の中に環境に関するイベントや講座があるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、不特定多数の人との接触を避け、イベントや講座を中止しているため、昨年度（86.4%）と同程度の結果となった。

0402 例年よりも申請数は多く、中でも高効率給湯器の申請数が増加した。

0403 新型コロナウイルス感染症の影響により環境学習への参加人数が増加しなかった。今後も啓発活動を続けていく。

R4

0401 新型コロナウイルス感染症の影響からは回復基調であり、事業等は実施されたものの、参加人数等の目標を達成することができなかった。引き続き計画が実行されるよう、各課との調整を図る。

0402 一般的に普及している高効率給湯器等を対象外としたため申請数が減少した。引き続き広報いとう等により周知啓発を実施していく。

0403 児童数が減少したこと等の影響により環境学習への参加人数が減少した。アースキッズ事業の対象を拡大する等により環境学習参加者数を増やしていく。

R5

0401 未達成施策の大半が、次世代自動車への転換など、達成が容易でない施策ではあるものの、関係課へ協力を依頼していく。

0402 電気自動車を補助対象としたため前年よりも申請数は増加したが、目標値を下回ったため、引き続き広報いとう等により周知啓発を実施していく。

0403 アースキッズ参加者数は増えたが、ふるさと教室の環境分野の教室が減少したことなどで、総数としては前年度を下回ったことから、環境学習の機会を増やしていくよう関係課等へ働きかけていく。

中間評価

0401（達成状況） **D**

（実績評価）・令和５年度から第三次伊東市環境基本計画となり、令和４年度までの第二次伊東市環境基本計画と各課の施策内容や施策数が変わったので比較することができないことから、令和５年度の達成率のみで評価した。

（今後の対応）・関係各課に施策実施を引き続き働きかけていく。

0402（達成状況） **C**

（実績評価）・一般的に普及している高効率給湯器等を補助対象外とし、電気自動車を補助対象としたが、目標件数を達成することはできなかった。

（今後の対応）・引き続き広報いとう等により効果的な周知啓発を実施していく。

0403（達成状況） **D**

（実績評価）・児童数が減少したこと等の影響により環境学習への参加人数の減少や、ふるさと教室の環境分野の教室が減少したことなどによる環境学習の機会の減少によって、目標人数を達成することがてきなかった。

（今後の対応）・引き続き環境学習の機会や参加者を増やしていくよう関係課等へ働きかけていく。

05	市役所地球温暖化対策実行計画の推進	達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
			達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 温室効果ガスの総排出量を削減するための配慮行動の実施	市有施設の温室効果ガスの総排出量	R1 14,034 t-CO_2	目標値	11,643	11,181	10,732	10,283	9,834	t-CO_2 以下	環境課
			実績値	13,720	13,691	13,180				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価		
R3	0501	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、リモート会議が増加したことにより自動車の使用エネルギー及び市施設休止による市施設使用エネルギーは削減したが、小中学校の空調設備が完備されたことにより、削減分を上回るLPG使用量の増加があった。
R4	0501	新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していたイベント等が開催されたため、観光施設の排出量が増加したが、電気使用量については昨年度と比べて削減されたものの、目標を達成することができなかった。今後も節電やごみの減量等温室効果ガス総排出量の削減に努める。
R5	0501	コロナ禍の影響から回復してきている中で、温室効果ガスの総排出量を前年度に比べ、3.7%削減することができたが、目標を達成できなかった。引き続き削減に努めていく。

中間評価	
0501（達成状況）	**D**
（実績評価）	・コロナ禍の影響から回復してきている中で、毎年度、温室効果ガス総排出量の削減を続け、対前年度削減率も上昇しているものの、目標を達成することができなかった。
（今後の対応）	・引き続き節電等の温室効果ガス総排出量の削減に努めるとともに、エネルギー使用量の９割近くを占める電気使用量について、温室効果ガスを削減できる料金プランへの変更を検討していく。

06	廃棄物処理施設の適正な維持管理	達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
			達成数	1	1	1	0	0		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601 排出基準値1ng-TEQ/㎥N以下、放流水質COD40mg/L以下、SS90mg/L以下の基準値内処理	ダイオキシン類（1ng-TEQ/㎥N） 放流水質 COD(40mg/L) SS(90mg/L)	R１ 1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	目標値	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	ng-TEQ/㎥N mg/L以下	環境課
			実績値	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下	1ng-TEQ/㎥N以下 40mg/L以下 90mg/L以下				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価		
R3	0601	可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。今後も施設の適正な維持管理に努めていく。
R4	0601	可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。
R5	0601	可燃廃棄物、不燃廃棄物、し尿処理の適正管理により、目標値を達成している。

中間評価	
0601（達成状況）	**A**
（実績評価）	・機器等の点検の積み重ねにより、基準値内処理の達成となった。
（今後の対応）	・引き続き、施設の適正な維持管理が行えるよう機器等の点検に努める。

担当課	下水道課・環境課
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野 3	生活排水対策の充実
目指す姿	市民にとって適切な汚水処理により生活環境が向上し、公共用水域の水質保全等が図られ、快適な市民生活を送ることができる

施策３－３の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	14	14	14	14	14
達成数	6	10	6	0	0
達成率	42.9%	71.4%	42.9%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	3	3	3	3	3
達成数	3	3	3	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

成果指標			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	環境基準（河川BOD・海域COD）	八代田橋（BOD）	R1 0.9mg/ℓ	目標値	2	2	2	2	2	mg/ℓ 以下	下水道課
				実績値	0.8	0.7	0.7				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
		渚橋（BOD）	R1 1.0mg/ℓ	目標値	3	3	3	3	3	mg/ℓ 以下	下水道課
				実績値	0.9	0.8	0.9				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
		伊東港中央（COD）	R1 1.5mg/ℓ	目標値	2	2	2	2	2	mg/ℓ 以下	下水道課
				実績値	1.5	1.3	1.4				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

目標値の考え方	目標値は国の環境基準（排出基準）とし、下水道整備により良好な水質を保全し、将来に渡って維持していくことを目標とする。
R3年度（実績評価）	・生活排水を適正に処理することが、公共水域の水質保全や公衆衛生の向上につながるため、下水道未接続世帯に対する個別訪問を実施し水洗化率の向上に努めた。
R3年度（次年度修正点）	・下水道接続促進を継続し、公共水域の水質保全に努める。
R4年度（実績評価）	・生活排水を適正に処理することが、公共水域の水質保全や公衆衛生の向上につながるため、下水道未接続世帯に対する個別訪問を実施し水洗化率の向上に努めた。
R4年度（次年度修正点）	・下水道接続促進を継続し、公共水域の水質保全に努める。
R5年度（実績評価）	・生活排水を適正に処理することが、公共水域の水質保全や公衆衛生の向上につながるため、下水道未接続世帯に対する個別訪問を実施し水洗化率の向上に努めた。
R5年度（次年度修正点）	・下水道接続促進を継続し、公共水域の水質保全に努める。
中間評価（達成状況）	A
中間評価（実績評価）	・生活排水の適正な処理に努め、環境基準（河川BOD・海域COD）の目標値を達成した。また、公共水域の水質保全や公衆衛生の向上とめ、下水道未接続世帯に対する個別訪問を実施するなど下水道接続促進に努めた。
中間評価（今後の対応）	・今後も下水道接続の促進を継続して進めるとともに、生活排水を適正に処理し公共水域の水質保全に努める。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	11	11	11	11	11
達成数	3	7	3	0	0
達成率	27.3%	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%

※ 基本的な取組・主な内容の達成状況

01　下水道の健全経営

達成状況	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	1	2	1	0	0
達成率	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	公営企業会計制度に基づく財務分析	汚水処理費に係る経費回収率	R2 50.5%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	% 以上	下水道課
				実績値	49.9	51.6	51.6				
				評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				
0102	一般会計からの繰入金その他下水道事業経営のあり方の検討	基準外繰入金の割合	R2 44.4%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	% 以下	下水道課
				実績値	48.3	49.3	52.2				
				評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				

年度評価	
R3	0101 目標値に対し、0.01ポイントの減となっているが、100%以上が望ましいとされる本指標において著しく低い数値である。適正な使用料金の設定を行うなどの経営改善が求められる状況である。
R3	0102 本指標においては、達成したことになっているが、基準外繰入金の割合は昨年度に比べて増加している。経費回収率同様の経営改善が求められる。
R4	0101 目標値を若干上回っているが、100%以上が望ましいとされる本指標において著しく低い数値である。適正な使用料金の設定を行うなどの経営改善が求められる状況である。
R4	0102 目標値を達成しているが、依然として基準外繰入金の割合が高いため、基準外繰入金を抑制するための経営改善が求められる。
R5	0101 目標値を若干上回っているが、100%以上が望ましいとされる本指標において著しく低い数値である。適正な使用料金の設定を行うなどの経営改善が求められる状況である。
R5	0102 使用料金の改定を見送ったことや維持管理費等の増加等により、基準外繰入金額が増加しており著しく低い数値である。適正な使用料金の設定を行うなどの経営改善が求められる状況である。

中間評価	
0101（達成状況）	B+
（実績評価）	・目標値を若干上回っており実績値は上昇傾向だが、１００%以上が望ましいとされる本指標において著しく低い数値である。
（今後の対応）	・適正な使用料金の設定を行うなどの経営改善に努めていく。
0102（達成状況）	B−
（実績評価）	・維持管理費は物価高騰等により増加傾向にあり、基準外繰入金は年々増加しており著しく低い数値である。
（今後の対応）	・適正な使用料金の設定や維持管理費の増加抑制などの経営改善に努めていく。

02　下水道施設の効率的な整備促進

達成状況							
指標数	2	2	2	2	2		
達成数	1	0	0	0	0		
達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	下水道区域の見直しも含めた効率的な整備の促進	整備済面積/年	R2 2.0ha	目標値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	ha 以上	下水道課
				実績値	0.5	0	0				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0202	主要幹線以外の枝線整備	整備済面積/年	R2 1.0ha	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha 以上	下水道課
				実績値	3.9	0.7	0.5				
				評　価	○ 達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0201	アクションプランに基づき計画的に工事を行ったものの、諸事情により工事の進捗が遅れ、次年度へ繰り越したことから、実績値を計上出来ず目標値を大幅に下回った。
	0202	市民運動場のトイレを下水道に接続したことにより、広大な市民運動場が整備面積として計上されたことから、目標値を大幅に上回った。
R4	0201	現在川奈駅周辺に幹線を布設しているが、当該区域の汚水は国道までポンプで圧送する必要があることから、今年度設置予定のポンプが稼働しないと供用できない。このため、整備面積として計上できないことから、整備面積が0haとなったが、来年度ポンプが稼働すると今年度分の整備面積を計上することができるため、目標が達成できる見込である。
	0202	現在川奈駅周辺の面整備を行っているが、当該区域の汚水は国道までポンプで圧送する必要があることから、今年度設置予定のポンプが稼働しないと供用できない。このため、整備面積として計上できないことから、目標を達成できなかったが、来年度ポンプが稼働すると今年度分の整備面積を計上することができるため、目標が達成できる見込である。
R5	0201	ポンプに接続する汚水幹線布設工事の遅延から令和５年度末に稼働予定であったポンプが未稼働となったため、汚水幹線の供用ができなくなり、整備面積として計上できなかったことから、整備面積が0haとなった。
	0202	ポンプに接続する汚水幹線布設工事の遅延から令和５年度末に稼働予定であったポンプが未稼働となったため、枝線の供用ができなくなり、整備面積として計上できなかったことから、整備面積が0.5haとなった。

中間評価

0201（達成状況）**D**

（実績評価）・令和5年度から供用するため川奈駅周辺に汚水幹線の布設を進めてきたが、諸事情により工事が遅延し供用ができなかったことから、目標としている整備面積を達成できなかった。

（今後の対応）・令和6年度の供用に向け工事の進捗を図る。供用することにより目標が達成される見込みである。

0202（達成状況）**C**

（実績評価）・令和5年度から供用するため川奈駅周辺に汚水幹線の布設を進めてきたが、諸事情により工事が遅延し供用ができなかったことから、目標としている整備面積を達成できなかった。

（今後の対応）・令和６年度の供用に向け工事の進捗を図る。供用することにより目標が達成される見込みである。

03　下水道施設の適正管理

達成状況							
指標数	4	4	4	4	4		
達成数	1	2	1	0	0		
達成率	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%		

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	計画に基づく施設の長寿命化や耐震化の推進	長寿命化計画の推進（マンホール蓋交換）	R2 72か所	目標値	50	50	50	50	50	か所 以上	下水道課
				実績値	39	33	38				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
		長寿命化計画の推進（施設改修）	R2 1件	目標値	1	1	1	1	1	件 以上	下水道課
				実績値	0	1	0				
				評　価	× 未達成	○ 達成	× 未達成				
		耐震化計画の推進（管路改修）	R2 200m	目標値	250	250	250	250	250	m 以上	下水道課
				実績値	422	423	451				
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
		耐震化計画の推進（施設改修）	R2 1件	目標値	1	1	1	1	1	件 以上	下水道課
				実績値	0	0	0				
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0301	下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しており、令和３年度は要望した交付金が削減されたことから、計画通り事業を実施出来なかった。
R4	0301	下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しているため、４年度は要望した交付金が削減されたことから、計画通り事業を実施できなかったが、今後は予算要望のヒアリング等で県の担当者に事業の必要性を理解してもらうように努めていく。
R5	0301	下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しているため、５年度は要望した交付金が削減されたことから、計画通り事業を実施できなかったが、今後は交付要件等の改正を注視し、予算要望のヒアリング等で県の担当者に事業の必要性を理解してもらうように努めていく。

中間評価

0301（達成状況）**C**

（実績評価）・下水道施設の耐震化及び長寿命化事業は国の交付金により実施しており、要望した交付金が削減され計画どおり事業を実施できなかったことから、目標の達成に至らなかった。

（今後の対応）・今後は交付要件等の改正を注視し、予算要望のヒアリング等で県の担当者に事業の必要性を理解してもらうように努め、予算の確保を目指していく。

04　減災対策

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	1	1	0	0	
達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401　広域避難場所等におけるマンホールトイレの整備	累計整備済箇所	R2 2か所	目標値	4	5	6	6	6	か所 以上	下水道課
			実績値	3	5	6				
			評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価	
R3	0401　マンホールトイレ設置事業は国の交付金により実施しており、令和３年度は要望した交付金が削減されたことから、２か所の設置を計画していたが１か所の設置に留まった。
R4	0401　目標値については、伊東市総合地震対策計画に基づき設定したが、設置予定箇所であった広域避難場所の西小学校が廃校になったことから、当該計画から除外したため、目標値を７か所から６か所に修正する。
R5	0401　伊東市総合地震対策計画に基づき広域避難場所等におけるマンホールトイレを設置した。

中間評価	
0401（達成状況）	**B**
（実績評価）	・伊東市総合地震対策計画に基づき広域避難場所等におけるマンホールトイレを６か所整備した。
（今後の対応）	・今後は下水道区域内における新たな整備箇所を検討する。

05　下水道への接続の促進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	1	0	0	0	
達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501　公共下水道及び地域汚水処理施設の供用開始区域での啓発活動	啓発活動の継続	R1 110件	目標値	120	120	120	120	120	件 以上	下水道課
			実績値	64	123	68				
			評　価	× 未達成	○ 達成	× 未達成				

年度評価	
R3	0501　新型コロナウイルス感染症拡大に起因する理由（緊急事態宣言等による外出・面会の自粛、市内の感染拡大状況、情勢不安な市民感情を考慮）により、実施を見合わせる時期があったことから、未達成となった。
R4	0501　啓発活動地域が密集していたことにより目標値を達成することができた。
R5	0501　供用開始3年未満の未接続者は無利子での貸付や補助金の対象となるため例年通りの啓発活動を行ったが、供用開始から3年以上経過している者への啓発は物価高騰など社会情勢を考慮し、例年より少ない実績となった。

中間評価	
0501（達成状況）	**C**
（実績評価）	・年度によって件数にばらつきがあるが、毎年継続して啓発活動を実施できている。
（今後の対応）	・目標件数の啓発活動実施を目指し、業務内容の検討も行い、より効果のある方法を模索していきたい。

06　適正な浄化槽の維持管理の推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	1	0	0	0	
達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601　県の浄化槽パトロールに同行した適正な浄化槽の維持管理の戸別説明	県浄化槽パトロール訪問件数 ※隔年実施	R1 32回	目標値	40	40	- (45)	45 (-)	- (50)	回 以上	環境課
			実績値	0	52	-				
			評　価	× 未達成	○ 達成	-				

年度評価	
R3	0601　新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当該パトロールを実施しなかったため。
R4	0601　新型コロナウイルス感染症の蔓延によりR3で実施しなかった当該パトロールをR4で実施した。R4の目標値はR3の数値と同様とした。今後も県と連携して当該パトロールを実施することにより、浄化槽の維持管理を推進していきたい。
R5	0601　新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和3年度で実施しなかった当該パトロールを令和4年度で実施し、令和4年度から隔年実施とすることとなったため、今年度は実施しなかった。また、実施年度に合わせるため、令和５年度以降の目標値を修正する。

中間評価	
0601（達成状況）	**B+**
（実績評価）	・パトロールを実施した年度は、目標値を達成した。
（今後の対応）	・今後も県と連携して当該パトロールを実施することにより、浄化槽の維持管理を推進していきたい。

担当課		水道課
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野	4	安全でおいしい水の安定供給
目指す姿		水道使用者が安全でおいしい水を安定的に使用することができる

施策３－４の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	10	10	10	10	10
達成数	6	6	7	0	0
達成率	60.0%	60.0%	70.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	1	1	1	1	1		
達成数	0	0	0	0	0		
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

成果指標	「安全でおいしい水の安定供給」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2 88.0%	目標値	88.4	88.8	89.2	89.6	90.0	% 以上	水道課
			実績値	88.1	86.7	85.4				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

目標値の考え方	本市の水道水に対する市民の満足度は高い水準を維持しているが、湧水及び井戸水が9割を占める本市の水道水を積極的にPRしていくとともに、計画的な老朽化施設の更新や耐震化を推進することにより、さらなる市民満足度の向上が可能と考える。
R3年度（実績評価）	・目標値には達しなかったものの、令和３年度実施の市民満足度調査の結果から満足度としては高水準を維持していると考える。
R3年度（次年度修正点）	・水道施設の老朽化が課題となっているため、計画的に水道施設の更新を進め、さらなる満足度の向上に努める。
R4年度（実績評価）	・令和４年度実施の市民満足度調査の結果から満足度としては高水準を維持していると考えるが、結果として目標値には届かず未達成となってしまった。
R4年度（次年度修正点）	・安心・安全な水の供給を継続するため、計画的な水道施設の更新を進めることにより、さらなる満足度の向上に努める。
R5年度（実績評価）	・目標値には達しなかったものの、市民満足度調査の結果から高水準の満足度を維持していると考える。
R5年度（次年度修正点）	・安全でおいしい水の安定供給を継続するため、計画的な水道施設の更新を進めることにより、更なる満足度の向上に努める。
中間評価（達成状況）	B-
中間評価（実績評価）	・85%以上のお客様から「満足している」との評価をいただいており、満足度は高いものと考えるが、さらに満足度が向上するように事業運営を図っていく。
中間評価（今後の対応）	・本市の水道水は湧水や井戸水が9割を占めており、積極的にPRするとともに施設の更新を進め、満足度の向上に努める。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）

指標数	9	9	9	9	9	※	基本的な取組・主な内容の達成状況
達成数	6	6	7	0	0		
達成率	66.7%	66.7%	77.8%	0.0%	0.0%		

01　水質の適正管理の推進

達成状況					
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	2	2	0	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101 原水・浄水の定期的な水質検査の実施	水質基準適合率	R2 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	水道課
			実績値	100	100	100				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0102 検査結果の公表	毎月公表	R2 毎月公表	目標値	12	12	12	12	12	回 以上	水道課
			実績値	12	12	12				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価	
R3	0101 残留塩素は毎日、水質は毎月検査を実施し、水質基準に適合した安全で安心な水質を維持した。
	0102 水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全な水道水であることを周知した。
R4	0101 残留塩素は毎日、水質は毎月検査を実施し、水質基準に適合した安全で安心な水質を維持した。
	0102 水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全な水道水であることを周知した。
R5	0101 残留塩素は毎日、水質は毎月検査を実施し、水質基準に適合した安全で安心な水質を維持した。
	0102 水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全な水道水であることを周知した。

中間評価	
0101（達成状況）	A
（実績評価）	・適切な水質管理により、安全な水道水の供給が行われている。
（今後の対応）	・水質基準適合１００%を維持して行く。
0102（達成状況）	A
（実績評価）	・水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全性を周知できた。
（今後の対応）	・水質検査結果を継続的に行う。

02　管路更新（耐震化）事業の推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 効率的な管路の更新事業の実施	更新距離数	R2 1.0km/年	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年 以上	水道課
			実績値	0.7	1.3	3.3				
			評　価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				

年度評価

R3	0201 水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発覚し、全国的に水道資材が一時出荷見合わせとなり、発注済工事の年度内完成が困難となった。
R4	0201 施工箇所において、既設埋設管（下水道・ガス・温泉）が混在しており、配水管埋設スペースが限られたことにより工事進捗に遅れが生じ、年度内完成が困難となった。令和５年度は上記問題の影響が少ない施工箇所であるため、実績値は増となる見込みである。
R5	0201 前年度までは、既設埋設管等の影響により年度内完成が困難となり、繰越工事が起因して目標値に至らなかったが、令和５年度は繰越工事が無く計画どおり工事完了したことや、繰越工事分の延長が加算され実績値が目標値を大きく上回った。

中間評価

0201（達成状況）**B+**

（実績評価）	・過去３年の実績値を平均すると目標延長を上回っているので、効率的な管路の更新が図られていると評価できる。
（今後の対応）	・引き続き効率的な管路の更新を推進するとともに、基幹管路や重要管路の更新選定見直しを図りたい。

03　災害・事故時に迅速に対応できる体制づくり

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 緊急時における資材・配管材の確保	備蓄資材の品目数	R2 237品目	目標値	237	237	237	237	237	品目 以上	水道課
			実績値	237	237	237				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0302 応援協力体制の確立	応援協力協定団体数	R2 7団体	目標値	7	7	7	7	7	団体 以上	水道課
			実績値	7	7	7				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3	0301 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。
	0302 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。
R4	0301 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。
	0302 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。
R5	0301 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。
	0302 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。

中間評価

0301（達成状況）**A**

（実績評価）	・常備備蓄資材は常に必要部数を確保出来るよう、日頃より適切な管理を行い、目標値を維持達成できている。
（今後の対応）	・引き続き適切な管理を行なうとともに、一部資機材においては最新資機材への買換え検討等を行いたい。

0302（達成状況）**A**

（実績評価）	・応援協力体制について、良好に維持することができている。
（今後の対応）	・他の事業団体との応援協力体制について、実施訓練を検討していきたい。

04　持続可能な経営基盤の強化

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 経営の効率化・経費削減	経常収支比率	R1 105%	目標値	105	105	105	105	105	% 以上	水道課
			実績値	99.5	99.3	98.0				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0402 収納率の向上	収納率	R1 97.29%	目標値	97.30	97.35	97.40	97.45	97.50	% 以上	水道課
			実績値	97.70	97.73	98.03				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0403 料金体系の見直し	料金値上げ	R1 0円	目標値	0	0	0	0	0	円	水道課
			実績値	0	0	0				
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				

年度評価

R3	0401 給水収益の減少により、健全経営の水準とされる100%を下回った。主な原因は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大であるため、今後しばらくは厳しい状況が続くと思われる。
	0402 収納率は目標値を達成できているため、引き続き水道料金事務センターと密に連携し収納率の向上に努める。
	0403 新型コロナウイルス感染症の影響により、給水収益の減少は続くものの料金値上げの検討には至らなかった。しかしながら、厳しい状況であるとの認識から今後の経営状況を注視したい。
R4	0401 新型コロナウイルス感染症による行動制限が一定程度緩和されたことにより給水収益は増加したが、世界情勢の影響に伴う動力費等の経費が増加している。そのため、経常収支比率が減少しており、今後しばらくは厳しい状況が続くと思われるが、引き続き、経営改善に向けた取組を検討していく。
	0402 収納率は目標値を達成できているため、引き続き水道料金事務センターと密に連携し収納率の向上に努める。
	0403 令和4年度においても、経営状況が厳しいながらも料金体系の見直しの議論には至らなかったが、近い将来、値上げせざるを得ない状況であることに間違いないため、令和5年度以降の早い時期に料金値上げに関する検討会を開催する必要がある。
R5	0401 経常収支比率は３年連続で100%を下回っており、健全な事業運営が図られていないと考える。経費節減も限界が近づくなか、料金改定（値上げ）を含めて検討したい。
	0402 収納率は目標値を達成できているため、引き続き水道料金事務センターと密に連携し、さらなる収納率の向上に努める。
	0403 令和５年度においても料金値上げは実施しなかったが、３か年度連続で収益的収支の純損失を計上しており、令和６年度以降は料金改定（値上げ）を真剣に検討しなければいけない時期となっている。

中間評価

0401（達成状況）	D
（実績評価）	・給水収益が減少傾向であり、経営の健全化の指標となる経常収支比率が100%を下回っており、厳しい経営状況となっている。
（今後の対応）	・料金改定（値上げ）について、審議会を発足し検討を進める必要性がある。
0402（達成状況）	A
（実績評価）	・収納率は目標を達成しているため、引き続き水道料金事務センターと連携し、さらなる収納率の向上に努める。
（今後の対応）	・令和５年度から、過年度分を含む大口滞納者からの徴収を強化しているが、引き続き大口滞納者の解消に努めたい。
0403（達成状況）	A
（実績評価）	・料金の値上げは実施していないものの、現在の料金体系が適切かどうか検討する必要がある。
（今後の対応）	・近い将来、値上げは必ず必要となることから、タイミングを逃さないよう部内で準備を進めるとともに、市長部局と調整していく。

05　民営水道の統合の推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	0	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 未統合事業者の統合の推進に向けた協議	協議回数	R2 1回/年	目標値	3	3	3	3	3	回/年 以上	水道課
			実績値	1	1	1				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				

年度評価

R3	0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。
R4	0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。
R5	0501 民営水道事業者側の施設台帳等の整備が整わず、具体的な協議に至らなかったが、今後も統合に向け推進していく。

中間評価

0501（達成状況）	D
（実績評価）	・統合にあたっては、民営水道事業者の施設台帳のデジタル化が必須であることから、整備の依頼をしている。
（今後の対応）	・速やかな施設台帳整備完了を依頼をしていくとともに、現地調査等を併せて行っていきたい。

担当課		都市計画課・建築住宅課・市民課
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野	5	魅力的な都市空間の創造
目指す姿		市域で地域特性を生かした安全で快適な市街地が形成され、景観に配慮されている

施策３－５の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	19	19	20	20	20
達成数	14	12	13	0	0
達成率	73.7%	63.2%	65.0%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	1	0	0	0	0
達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標1

「海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成」に満足している市民の割合（市民満足度調査）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 58.3%	目標値	60.0	62.0	63.0	64.0	65.0	% 以上	都市計画課
	実績値	58.9	54.2	59.5				
	評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

目標値の考え方：「海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成」に満足している市民の割合は、平成30年度 実績 57.1%、令和元年度実績 55.5%、令和２年度実績 58.3%を参照し、各年度１%程度の上昇を見込み、65%以上とした。

成果指標2

土地の使い方について「全体として調和が取れており、良い状態である」と回答した市民の割合（市民満足度調査）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 32.6%	目標値	34.0	36.0	38.0	40.0	42.0	% 以上	都市計画課
	実績値	41.5	31.1	24.8				
	評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				

目標値の考え方：「全体として調和が取れており、良い状態である」と回答した市民の割合は、令和元年度実績 32.8%、令和２年度実績 32.6%を参照し、各年度２%程度上昇を見込み、42%以上とした。

R3年度

1（実績評価）・景観施策により積極的に取り組み景観に配慮したまちづくりを進めるため、基本方針の見直しや重点地区の候補地や眺望点の選定等、伊東市景観形成基本計画及び伊東市景観計画の改正を行った。

（次年度修正点）・重要景観景形成地区を定め、より良好な景観の形成に努めていく。

2（実績評価）・人々の生活や経済活動等により形成される事業と伊東の自然、歴史、文化と調和が取れるよう、主に土地利用事業等の適正化に関する指導要綱に基づき指導を行った。

（次年度修正点）・状況に応じ指導要綱等の基準の見直しを行い、調和が図れるよう適正な指導を行っていく。

R4年度

1（実績評価）・景観施策により積極的に取り組み景観に配慮したまちづくりを進めるため、基本方針の見直しや重点地区の候補地や眺望点の選定等を定めた伊東市景観形成基本計画及び伊東市景観計画に基づき、重要景観形成地区の指定に向けた取り組みを行った。

（次年度修正点）・重要景観形成地区を指定し、より良好な景観の形成に努めていく。

2（実績評価）・人々の生活や経済活動等により形成される事業と伊東の自然、歴史、文化と調和がとれるよう、主に土地利用事業等の適正化に関する指導要綱に基づき指導を行った。

（次年度修正点）・状況に応じ指導要綱等の基準の見直しを行い、調和が図れるよう適正な指導を行っていく。

R5年度

1（実績評価）・景観施策により積極的に取り組み景観に配慮したまちづくりを進めるため、基本方針の見直しや重点地区の候補地や眺望点の選定等を定めた伊東市景観形成基本計画及び伊東市景観計画に基づき、東海館（松川）周辺地区を重要景観形成地区として指定すべく原案を策定した。

（次年度修正点）・東海館（松川）周辺地区を重要景観形成地区への指定に際し、パブリックコメント等で市民のご意見を聴取し、最終案の参考とするとともに、伊東市景観審議会に諮っていく。

2（実績評価）・人々の生活や経済活動等により形成される事業と伊東の自然、歴史、文化と調和がとれるよう、主に土地利用事業等の適正化に関する指導要綱に基づき指導を行った。

（次年度修正点）・状況に応じ指導要綱等の基準の見直しを行い、調和が図れるよう適正な指導を行っていく。

中間評価

1（達成状況）**D**

（実績評価）・KPIとしている市民満足度は微増傾向となっていることから、景観施策全体の方向性は一定の評価を得ていると考え、伊東市景観形成基本計画及び伊東市景観計画に基づいた取組を継続していく。

（今後の対応）・重要景観形成地区については、東海館（松川）周辺地区に加えて大室山周辺地区の指定についても検討に入り、本市の景観保全を進めていく。

2（達成状況）**C**

（実績評価）・令和４年４月１日に伊東市開発行為等事務処理要領及び伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱を改定した他、違反の疑いのある事案の発見のため、通報等に基づくパトロールも随時実施している。

（今後の対応）・今後も引き続き土地利用事業等の適正化の推進のため、適正な指導等を行っていく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		指標数	17	17	18	18	18	
		達成数	13	12	13	0	0	
		達成率	76.5%	70.6%	72.2%	0.0%	0.0%	
01　中心市街地の活性化の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
		達成数	2	3	3	0	0	
		達成率	66.7%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　伊東駅周辺地区の整備	伊東駅前広場整備の進捗率	R2 0%	目標値	5.0	10.0	20.0	30.0	70.0	% 以上	都市計画課
			実績値	5.0	10.0	20.0				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0102　市街地の道路整備	都市計画道路の整備率	R2 59.7%	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.1	% 以上	都市計画課
			実績値	60.4	60.4	69.1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0103　官民協働で行うまちづくりの活動	活動件数	直近5年の平均 3件	目標値	3	3	3	3	3	件 以上	都市計画課
			実績値	1	3	3				
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

0101　交通空間と環境空間の全体配置が決定した。

0102　宇佐美駅前通線の廃止により分母が減少したため整備率が上がった。

0103　松川推進協議会の事務局として清掃作業等を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1件の活動となった。

R4

0101　概略設計が完了し、導入する施設やその配置が概ね決定した。

0102　宇佐美八幡中里線及び芹田大原線の一部廃止手続きを進めた。

0103　松川周辺地区まちづくり推進協議会の事務局として清掃作業等を行った。

R5

0101　事業地の用地測量及び不動産鑑定評価を実施するとともに、伊東駅前広場整備計画（案）について住民説明会を実施した。

0102　長期未着手路線について、必要性・合理性の再検証を行った結果、宇佐美八幡中里線、芹田大原線の一部廃止を行った。

0103　松川周辺地区まちづくり推進協議会の事務局として清掃作業等を行った。

中間評価

0101（達成状況）　**B**

（実績評価）・令和５年度まで概ね予定どおりに進捗してきたが、今後は一層の周辺住民や地権者との調整が必要となっている。

（今後の対応）・当該計画中の市道南口線との交差点部の計画について、公安委員会と協議していくとともに、計画に対する住民の意見の反映について検討委員会に諮った上で、都市計画決定を目指す。

0102（達成状況）　**A**

（実績評価）・都市計画道路の廃止や見直しにより、整備率は達成されている状況である。
・今後も各路線の交通量データ取得・分析等と併せ、（都）伊東大仁線の事業も継続して取り組む。

（今後の対応）・都市計画道路伊東大仁線の用地取得及び、伊東駅・伊東港線の交通実態の把握や分析などに取り組んでいく。

0103（達成状況）　**B**

（実績評価）・官民協働で行うまちづくりという目標に対し、その目標に掲げた活動機会を創出することができた。

（今後の対応）・引き続き官民協働で行うまちづくりの活動を推進していく。

02　地域特性を踏まえた都市機能や生活機能を集約したまちづくりの推進

達成状況					
指標数	0	0	1	1	1
達成数	0	0	1	0	0
達成率			100.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201　都市機能誘導区域への公共施設等の誘導	施設数	ー ※1	目標値	ー	ー	0	1	0	件 以上	都市計画課
			実績値	ー	ー	0				
			評　価	ー	ー	ー				
0202　居住誘導区域への居住誘導	居住誘導区域外の住宅開発届出件数	ー ※1	目標値	ー	ー	5	5	5	件 以下	都市計画課
			実績値	ー	ー	1				
			評　価	ー	ー	○　達成				

年度評価

R3	0201　計画策定中のため実績値なし。令和5年4月1日策定公表予定。（策定時期がR4からR5に変更となったことから、R4の目標値を「ー」に変更した。）
	0202　計画策定中のため実績値なし。令和5年4月1日策定公表予定。（策定時期がR4からR5に変更となったことから、R4の目標値を「ー」に変更した。）
R4	0201　伊東市立地適正化計画を令和5年3月31日策定公表した。（令和5年度からの評価となる）
	0202　伊東市立地適正化計画を令和5年3月31日策定公表した。（令和5年度からの評価となる）
R5	0201　伊東市立地適正化計画を令和5年3月31日策定公表した。（令和５年度からの運用）
	0202　伊東市立地適正化計画を令和5年3月31日策定公表した。（令和５年度からの運用）

中間評価

0201（達成状況）—	
（実績評価）	・立地適正化計画による都市機能の誘導は比較的長いスパンで評価を行う必要性がある。
（今後の対応）	・令和６年度に公共施設（新図書館）が都市機能誘導区域に建設される予定であったが、建設資材や労務費の高騰による事業見直しを（リサイズ）を踏まえ、当該建設計画に係る国庫補助等事務の進度調整を行っていく。
0202（達成状況）A	
（実績評価）	・全国的に居住誘導区域外の住宅開発届出については、事業者等が行うものであることから、正確な捕捉が困難であるとされている。
（今後の対応）	・当該施策効果の捕捉方法について他地域の事例などを注視していく他、居住誘導区域外での土地利用や開発行為等に対し、届出の指導を行い捕足していく。

※1　令和5年度からの新規事業であるため、基準値をーとした。

03　憩いの場の整備

達成状況					
指標数	2	2	2	2	2
達成数	0	0	1	0	0
達成率	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301　公園・緑地の整備	公園の改修等を求める市民の割合（市民満足度調査）	R2 18.7%	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	% 以下	都市計画課
			実績値	21.1	18.8	18.2				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0302　開発行為による緑地の確保	緑地の個所数	直近5年の平均 １箇所	目標値	1	1	1	1	1	箇所 以上	都市計画課
			実績値	0	0	2				
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3	0301　引き続き遊具の設置等の整備を実施する。
	0302　完成した開発行為が無かったため実績なし。
R4	0301　令和4年度は本郷公園に雲梯及びブランコを設置した。23都市公園のうち、遊具のある13公園の遊具を順次整備しており、令和4年度までに7公園の整備を行っている。引き続き遊具の設置等の整備を実施するとともに、計画や実績について情報発信を行っていく。
	0302　令和4年度に開発行為の申請された行為について、緑地の確保等の指導を行ったが、年度内に完成した行為が無かったため実績なしとなった。引き続き必要な緑地確保について指導を行っていく。
R5	0301　令和5年度は杉本公園のブランコとザイルクライミングを更新設置した。また鎌田公園のブランコの塗装補修を実施した。
	0302　年度内に完成した開発行為等が２案件あった。

中間評価

0301（達成状況）D	
（実績評価）	・公園に対する改修等要望については、継続して取り組んできた公園遊具の更新を受け微減傾向となっているが、本市の公共施設の改修要望順位としては依然として高いことから、取組みの拡大が必要と考えられる。
（今後の対応）	・令和9年度までに老朽化した遊具の更新が概ね完了する見込みであるが、公園に関する市民要望に耳を傾け、遊具にとどまらない公園整備も視野に調査・研究を行っていく。
0302（達成状況）B+	
（実績評価）	・実績については、民間等による開発行為の年度内完成案件数によるが、申請があったものについては緑地の確保について指導を行っている。
（今後の対応）	・引き続き緑地確保について指導していく。

04　土地利用の健全化	達成状況	指標数	2	2	2	2	2
		達成数	2	1	1	0	0
		達成率	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 伊東市土地利用事業等の適正化に関する指導要綱に基づく指導	申請件数	直近5年の平均 8件	目標値	8	8	8	8	8	件 以上	都市計画課
			実績値	8	4	4				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				
0402 宅地造成等規制法に基づく指導	違反件数	直近5年の平均 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	都市計画課
			実績値	0	0	0				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価		
R3	0401	防災や生活環境保全等について指導を行った。
	0402	宅地造成等規制法に基づき指導を行っており違反が無かった。
R4	0401	土地利用事業の申請件数が4件であったため目標値には届かなかった。今後、防災や生活環境保全等、土地利用等の適正化に関する指導要綱に基づく指導については、民間の土地利用事業等の申請全件に対して行っていく。
	0402	宅地造成等規制法に基づき指導を行っており違反が無かった。
R5	0401	土地利用事業の申請件数が4件であったため目標値には届かなかった。今後、防災や生活環境保全等、土地利用等の適正化に関する指導要綱に基づく指導については、民間の土地利用事業等の申請全件に対して行っていく。
	0402	宅地造成等規制法に基づき指導を行っており違反が無かった。

中間評価		
0401	（達成状況）	C
	（実績評価）	・件数は目標値に及ばない年度もあるが、各申請に対し、適切な指導を行っている。
	（今後の対応）	今後も、防災や生活環境保全等、土地利用等の適正化に関する指導要綱に基づく指導については、民間の土地利用事業等の申請全件に対して行っていく。
0402	（達成状況）	A
	（実績評価）	・宅地造成等規制法上の違反案件はなかった。
	（今後の対応）	・今後も、違反及び違反が疑われる事案の発生防止のため、通報等に基づくパトロールを随時行うなどの取組を継続していく。

05　景観に配慮したまちづくりの推進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	3	3	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 伊東市景観条例に基づく指導	違反件数	直近5年の平均 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	都市計画課
			実績値	0	0	0				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0502 静岡県屋外広告物条例に基づく指導	指導件数	直近5年の平均 40件	目標値	40	40	40	40	40	件	都市計画課
			実績値	40	40	40				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成			以上	
0503 廃屋解体の撤去支援	補助金交付件数	直近5年の平均 11件	目標値	15	15	15	15	15	件	都市計画課
			実績値	15	15	9				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成			以上	

年度評価

R3

0501 建築物等に対し周辺環境との調和を図るよう色彩について指導を行った。

0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。

0503 17件の申請があり、15件に補助金を交付した。

R4

0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。

0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。

0503 １８件の申請があり、１５件に補助金を交付した。残りの３件については、取り下げや廃屋認定されなかったことなどにより、交付しなかった。

R5

0501 建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行った。

0502 違反広告物の広告主等に対し口頭指導を行った。

0503 申請のあった９件に対し、全て補助金を交付した。

中間評価

0501（達成状況） **A**

（実績評価）・伊東市景観条例に係る違反事案はなく、施策が景観保全に寄与しているものと考えている。

（今後の対応）・今後も継続して建築物等に対し周辺環境と調和を図るよう色彩について指導を行っていく。

0502（達成状況） **A**

（実績評価）・違反広告物の広告主等への指導は継続しているものの、違反件数の減少につながらない実情もある。

（今後の対応）・屋外広告物対策に係る業務実施体制（人員増など）を検討し、きめ細かく厳密な対策を行っていきたい。

0503（達成状況） **C**

（実績評価）・令和5年度は目標値に対し未達成ではあったが、申請数の減少に鑑みると当該施策で対応すべき廃屋が減少しているものと捉えている。

（今後の対応）・景観保全のみならず、防火・防犯などの安心・安全の観点からも廃屋の解体撤去の支援を続けていく。

06 市営住宅の快適で良好な住空間の維持・確保

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	1	0	0	0	
達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	誰もが健やかに暮らせるよう市営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新	中層耐火構造住宅における住戸改良の実施累計戸数	― ※2	目標値	4	7	14	26	39	戸以上	建築住宅課
				実績値	4	7	11				
				評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0602	耐用年限が経過した老朽住戸の解体・撤去	用途廃止の後に解体・撤去した老朽住戸の戸数	R2 5戸 ※3	目標値	3	3	3	3	3	戸以上	建築住宅課
				実績値	3	2	2				
				評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0601 長寿命化計画に則り予定どおり施工を行った。
	0602 用途廃止がされている戸建住宅の解体を行った。
R4	0601 長寿命化計画に則り施工を行った結果、達成に至った。
	0602 集合住宅の用途廃止が無く戸建て解体に留まったため、達成には至らなかった。今後、各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。
R5	0601 工事費の上昇により、計画戸数を達成できなかった。
	0602 戸建て解体に留まったため、達成には至らなかった。今後、各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。

中間評価

0601（達成状況）	C
（実績評価）	・建設工事費の上昇により実施計画を達成できなかった。
（今後の対応）	・各市営住宅の状況を分析し、需要の多い市営住宅を優先的に改良を行っていく。
0602（達成状況）	C
（実績評価）	・戸建て住宅の解体しかできなかったため、計画を達成できなかった。
（今後の対応）	・各市営住宅の状況を分析し、解体や撤去を優先的に行う市営住宅を精査していく。

※2　令和３年度から実施する事業であり、基準値は－としたが、伊東市市営住宅長寿命化計画において目標値を掲げていることから、これに合わせた。

※3　基準値は令和２年度の５戸であるが、退去が生じなければ実施できない場合があるため、各年度３戸以上の目標値としている。

07 空家等及び跡地の利活用

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0701	伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定による市内の空家等の市場への流通促進	利活用相談人数	R2 2人	目標値	5	5	5	5	5	人以上	建築住宅課
				実績値	11	14	19				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0701 伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、空家等所有者から利活用の相談に対し、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会に流通促進を目的とした紹介を促した。
R4	0701 伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、空家等所有者からの利活用の相談に対し、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会に流通促進を目的とした照会を促し、管理不全になる前の空家対策を図った。
R5	0701 伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、空家等所有者からの利活用の相談に対し、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会に流通促進を目的とした照会を促し、管理不全になる前の空家対策を図った。また、空家相談会を開催し、利活用を促進した。

中間評価

0701（達成状況）	A
（実績評価）	・平成２９年１２月に公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会と締結した伊東市空家等対策に向けた利活用促進に関する協定により、利活用相談者の受け皿となり、市内空家等の市場への流通促進が少しずつ図られている。
（今後の対応）	・令和４年２月に静岡県司法書士会と締結した伊東市における空家等の対策の推進に関する協定に基づき司法書士との連携を強化し、相続されていない空家所有者に対し、利活用には相続登記が不可欠であることの周知を促していく。

08　空家等の適正な管理等の推進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	2	3	0	0	
達成率	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0801	町内会や分譲地自治会と連携した空家等の情報収集	合同調査回数	R2 1回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	建築住宅課
				実績値	3	5	8				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0802	所有者等に対する啓発及び情報提供	通知後の所有者からの相談率	R2 13%	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	%以上	建築住宅課
				実績値	30.0	28.0	51.9				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0803	相続時の専門家相談の検討	相談会開催回数	ー ※4	目標値	1	1	1	1	1	回以上	建築住宅課
				実績値	0	0	1				
				評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成				

年度評価

R3	0801　町内会や分譲地自治会と連携した空家等の情報収集について、目標値を上回る合同調査を実施した。
	0802　調査回数を増やしたこともあり、空家等所有者から通知後の解決に向けた相談は大幅に目標値を上回った。
	0803　相談会開催については、負担金の予算がなかったため開催することができなかった。今後も引き続き負担金の予算を要求し相談会の実施を目指す。
R4	0801　町内会や分譲地自治会との連携を増やし、空家等の情報収集について、目標値を上回る合同調査を実施した。
	0802　調査回数を増やしたことで、空家等所有者から通知後の解決に向けた相談で目標値を上回ることができた。
	0803　相談会開催については、負担金の予算がなかったため開催することができなかったが、令和５年度は予算計上ができたため、相談会を実施する。
R5	0801　町内会や分譲地自治会との連携を大幅に増やし、空家等の情報収集について、目標値を上回ることができた。
	0802　所有者等に対する通知文書を複数回送付したことで、通知後の所有者からの相談率が大幅に上回ることができた。
	0803　専門家による無料の空家相談会を開催できたことにより、所有者が抱える様々な問題・課題について、専門家の助言により解決した事案が増加した。

中間評価

0801（達成状況）	A
（実績評価）	・町内会や分譲地自治会との連携を拡大し、合同での調査回数が増加したことにより、空家等の情報収集が向上するとともに、町内会及び自治会との信頼関係が構築できた。
（今後の対応）	・空家が増え続ける中で、空家問題を抱える町内会や分譲地自治会が増加し、合同での調査回数が増えてきているが、今後も地元の要望に答え調査を継続し、早期の空家等対策を図る。
0802（達成状況）	A
（実績評価）	・所有者等に対する通知文書を複数回送付したことで、所有者からの相談率が向上し、空家に対する対応が促進した。
（今後の対応）	・調査回数を増やし、現況写真を添付した通知を複数回送付したことで、通知後の所有者からの相談率が向上し、空家対策につながっていることから、今後も相談率の向上に工夫を図る。
0803（達成状況）	B
（実績評価）	・無料の専門家による空家相談会の開催ができ、所有者の不安を解消することができた。
（今後の対応）	・専門家による無料の空家相談会を開催できたことで、各分野の専門家の意見を参考に所有者の不安が解消した効果がでているので、今後も継続して予算を確保し、専門家による無料空家相談会の開催を図る。

※4　令和３年度以降に県と連携し、伊東市での開催を見込んでいるものであり、これまで実施していないことから、基準値をーとした。

09　伊東市営天城霊園の整備推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0901	合葬施設等の整備	整備の進捗割合	R2 0%	目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	%以上	市民課
				実績値	20.0	50.0	60.0				
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0901　合葬式墓地建設を踏まえた第3期計画の基本設計を基に実施設計を作成した。
R4	0901　第３期計画の実施計画を基に、合葬式墓地を建設した。
R5	0901　合葬式墓地の供用を開始するとともに、園内整備について指定管理者と協議し、経年劣化に伴う芝生墓所の芝張替え等の次年度実施に向けて準備した。

中間評価

0901（達成状況）	B
（実績評価）	・第3期計画に基づき合葬式墓地を建設し、令和5年度から供用を始めることができた。
（今後の対応）	・第3期計画において、今後の事業計画である北側場内通路の車道化及び6B墓所近接駐車場の設置を段階的に進めていく。

担当課	都市計画課	施策３－６の全指標達成率					
政策目標 3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 6	公共交通体系の充実	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	市民、観光客等にとって持続可能な地域公共交通が確保・維持されている	達成数	8	7	8	0	0
		達成率	53.3%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	0	0	0	0	0
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標1	「バス・鉄道などの公共交通対策の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0	%	都市計画課
		35.3%	実績値	34.4	33.6	30.1				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
目標値の考え方	公共交通の満足度については、市民満足度調査を管理指標としており、令和元年度は31.7%、令和２年度はコロナ禍において、バス、電車の減便があるなか35.3%と上昇傾向である。満足度調査結果を基に10%の上昇を見込み45%とした。									

成果指標2	鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーの年間利用者数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	8,651	8,651	8,651	8,651	8,651	千人	都市計画課
		8,651千人	実績値	4,658	5,900	6,508				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
目標値の考え方	鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーの年間利用者数は、人口は減少傾向にあり年間利用者数の減少が懸念されるところ、利用促進等の取組による年間利用者数の維持を見込み、現状維持とした。									

R3年度	1（実績評価）	・伊東市地域公共交通計画で市内路線バスの維持、見直しの検討や地域公共交通の確保、充実、利用促進に向けた取組を行った。
	（次年度修正点）	・地域公共交通の確保、維持、充実に向け利用実態を把握し、利用促進に向けた取組等を行う。
	2（実績評価）	・利用促進に向けた取組として、交通系ICカード導入補助、タクシー車両の購入補助等を行った。
	（次年度修正点）	・継続した運行の確保、維持したうえで、利便性の向上を図っていく。
R4年度	1（実績評価）	・伊東市地域公共交通計画で市内路線バスの維持、見直しの検討や地域公共交通の確保、充実、利用促進に向けた取組を行った。
	（次年度修正点）	・地域公共交通の確保、維持、充実に向け利用実態を把握し、公共交通体系の見直しや利用促進に向けた取組等を事業者と共に進める。
	2（実績評価）	・利用促進に向けた取り組みとして、現状の把握、運行本数やルートの見直し等を事業者と行った。
	（次年度修正点）	・継続した運行の確保、維持に努めるとともに、公共交通体系の見直し等を行い利便性向上を図っていく。
R5年度	1（実績評価）	・交通空白地の分譲地等の自主的な交通確保のためのマニュアル整備を行った。
	（次年度修正点）	・本市の交通実態やニーズをアンケートや事業者からの利用データで分析し、必要な公共交通サービスレベルを検討し、伊東市地域公共交通計画の改定を進める。
	2（実績評価）	・利用促進に向けた取組として、現状の把握、運行本数やルートの見直し等を事業者と継続して行ったほか、市内の公共交通マップを配布した。
	（次年度修正点）	・公共交通の一層の利用促進のため、スマホ等と連動した利便性の高い市内公共交通マップの作成を行うべく、調査研究を行うほか、デマンド交通の沿線に利用促進の効果的なＰＲを行っていく。
中間評価	1（達成状況）	D
	（実績評価）	・コロナ禍が明け、市民の移動が活発化してきたことに伴い、コロナ禍における公共交通サービスの規模縮小が公共交通施策全般に係る満足度の低下傾向に現れているものと考えられる。
	（今後の対応）	・令和６年度に改定する伊東市地域公共交通計画において、持続可能な公共交通サービスを維持・改善することとともに、民間の交通施策の支援を含めた多面的な交通施策を検討していく。
	2（達成状況）	D
	（実績評価）	・公共交通の利用者が年々増加しており、そのニーズの上昇傾向は続くものと見込まれることから、路線バスの運行に係る補助は同様な規模で継続していくことが好ましいと考えられる。
	（今後の対応）	・事業者と連携した利用促進とニーズの把握・分析に継続して取り組んでいく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
			指標数	13	13	13	13	13	
			達成数	8	7	8	0	0	
			達成率	61.5%	53.8%	61.5%	0.0%	0.0%	
01　交通結節点の利用環境の向上			指標数	2	2	2	2	2	
		達成状況	達成数	2	2	2	0	0	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　乗り場案内や乗継案内などの表示改善	表示改善数	R2 1箇所	目標値	1	1	1	1	1	箇所以上	都市計画課
			実績値	1	1	1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0102　鉄道と路線バス、路線バス同士の接続の向上	鉄道・バス事業者との協議回数	直近5年の平均 3回	目標値	3	3	3	3	3	回以上	都市計画課
			実績値	3	3	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価	
R3	0101 伊豆高原駅改札前のデジタルサイネージを利用した乗場案内等のサービスを提供した。
	0102 路線バス事業者と交通結節点の利用環境の向上について協議を行った。
R4	0101 伊豆高原駅改札前のデジタルサイネージを利用した乗場案内等のサービスを提供した。
	0102 路線バス事業者と交通結節点の利用環境の向上について協議を行った。
R5	0101 伊豆高原駅改札前のデジタルサイネージを利用した乗場案内等のサービスを提供した。
	0102 路線バス事業者と交通結節点の利用環境の向上について協議を行った。

中間評価	
0101（達成状況）	A
（実績評価）	・交通結節点での情報表示は市民のみならず、伊豆高原地区を訪れる来遊客の利便性の向上につながっているものであることから、当該箇所での情報表示は継続していく。
（今後の対応）	・固定型のデジタルサイネージに加えて、紙の公共交通マップとスマホを連携した情報提供を行うなど、利用者の利便向上と情報発信を強化する取組等、現地の乗り場案内表示等によらない情報提供も検討していく。
0102（達成状況）	A
（実績評価）	・本市にはバス事業者、鉄道事業者の本社が所在することから、円滑な連携が図られていると考えられる。
（今後の対応）	・交通相互の接続だけでなく、教育、医療など多様なサービスとの接続性についても議論していきたい。

02　公共交通体系の再構築

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	0	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 市内路線バスの維持・見直し	バス事業者との協議回数	直近５年の平均 ３回	目標値	3	3	3	3	3	回 以上	都市計画課
			実績値	3	3	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0202 広域路線バスの維持・見直し	バス事業者との協議回数	直近５年の平均 ３回	目標値	3	3	3	3	3	回 以上	都市計画課
			実績値	3	3	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3	0201 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。
	0202 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。
R4	0201 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。
	0202 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。
R5	0201 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。
	0202 路線バス事業者と乗降調査の実施や収支上課題のある路線の運行の維持・改善について協議を行った。

中間評価

0201（達成状況）	A
（実績評価）	・乗降調査や乗車実績のほか、バス事業者の収支実績などを勘案し、生活路線バスの運行維持のため、継続して補助を行うことで、路線の維持をしてきた。
（今後の対応）	・政府が進める地域公共交通のリ・デザインの取組や各種補助メニューなどの活用により公共交通体系の再構築について、地域公共交通計画の改定と併せて検討していく。
0202（達成状況）	A
（実績評価）	・乗降調査や乗車実績のほか、バス事業者の収支実績などを勘案し、生活路線バスの運行維持のため、継続して補助を行うことで、路線の維持をしてきた。
（今後の対応）	・政府が進める地域公共交通のリ・デザインの取組や各種補助メニューなどの活用により公共交通体系の再構築について、地域公共交通計画の改定と併せて検討していく。

03　地域公共交通の確保・充実

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	1	0	1	0	0	
達成率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	交通空白地域の解消に向けた取組	取組支援件数	R2	目標値	2	3	4	5	6	件以上	都市計画課
			2件	実績値	2	2	4				
				評　価	○　達成	×　未達成	○　達成				
0302	別荘地等が主体となり運行する生活交通への補助	取組支援件数	R2	目標値	2	3	4	5	6	件以上	都市計画課
			2件	実績値	1	1	2				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0303	UDタクシー車両の購入補助	補助件数	R2	目標値	3	3	3	3	3	台以上	都市計画課
			1台	実績値	1	1	1				
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3

0301 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、伊東マンション地区の今後の移動手段に関するアンケートの作成や集計等の支援を行った。

0302 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、新たな交通の実証実験に向けた支援を行ったが、その他の別荘地等による運行に向けた活動が無かったため1件の支援となった。

0303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（１台）を行った。３事業者から申請を受け交付決定したが、２者から辞退の申し入れがあり１台の補助となった。

R4

0301 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、伊東マンション地区の今後の移動手段に関するアンケートの結果に基づき、今後について意見交換等の支援を行ったが、その他の交通空白地域等による運行に向けた地域の活動が無かったため2件の支援となった。今後、地域の活動を注視し支援を広げていきたい。

0302 伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加、新たな交通の実証実験の支援を行ったが、その他の別荘地等による運行に向けた活動が無かったため1件の支援となった。今後、別荘地の活動を注視し支援を広げていきたい。

0303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（１台）を行った。

R5

0301 伊豆高原地域デマンド型乗合タクシー結果検証会、伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加したほか、八幡野漁港自動運転の視察を行った。

0302 伊豆高原地域デマンド型乗合タクシー結果検証会、伊豆高原地域交通利便性向上検討会に参加したほか、丸善ランド地区での運行に関する相談に対応した。

0303 UDタクシー導入促進事業として車両の購入補助（１台）を行った。運転手不足や物価高騰等もあってかタクシー事業者からの導入希望がなかったこともあり、令和6年度は予算化されていないが、今後、改めてUDタクシー導入補助について事業者に対し周知しつつ、次年度に向けた導入要望などを伺っていきたい。

中間評価

0301（達成状況）**B**

（実績評価）・伊豆高原地域において住民と連携する中でデマンドタクシーの実証運行の取組を行ったほか、交通空白地域の住民への相談支援などを行ってきた。

（今後の対応）・引き続き伊豆高原地区を中心とした交通空白地域の住民との協働や、交通サービスを提供する民間企業との連携による交通空白地域対策を進めていく。

0302（達成状況）**D**

（実績評価）・随時の相談や地域での検討会等に参加してきたほか、令和5年度までに別荘地等の地域が主体となって生活交通を運行する際のマニュアルなどを整備してきた。

（今後の対応）・別荘地域が主体となった生活交通の実装に向けた支援について調査・研究していく。

0303（達成状況）**D**

（実績評価）・タクシー運転手の不足傾向もあり、UD車両に限らず、タクシー各社の増車や入替が抑制されていると考えられる。

（今後の対応）・伊豆地域の状況としてUDタクシー購入補助金の交付団体が無くなってきているが、地域の事業者の実情に応じて随時対応していく。

04　利用促進に向けた取組

達成状況							
指標数	4	4	4	4	4		
達成数	1	1	1	0	0		
達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%		

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401　総合時刻表の作成	作成及び最新版の維持（更新）	ー ※	目標値	1	1	1	1	1	回以上	都市計画課
			実績値	1	1	1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0402　モビリティ・マネジメントなどの実施	実施回数	R2 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	都市計画課
			実績値	0	0	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0403　乗り方教室などのイベントの実施	実施回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	都市計画課
			実績値	0	0	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0404　利用促進ツールの使い方の周知	周知回数	R1 2回	目標値	2	2	2	2	2	回以上	都市計画課
			実績値	0	0	1				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3

0401　総合時刻表の作成として、公共交通マップ（伊東駅周辺・伊豆高原駅周辺）を作成した。

0402　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。

0403　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗り方教室の開催を中止した。

0404　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗り方教室の開催を中止した。

R4

0401　総合時刻表の作成として、公共交通マップ（伊東駅周辺・伊豆高原駅周辺）の改訂版を作成した。

0402　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。今後、伊東市地域公共交通計画に基づき事業者と協働し実施していく。

0403　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせた。今後、伊東市地域公共交通計画に基づき事業者と協働し実施していく。

0404　新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗り方教室の開催中止に伴い未実施。※もくいく・PINA・ICカード等のチラシ配布による利用促進ツールの使い方の周知を行った。今後、伊東市地域公共交通計画に基づき事業者と協働し実施していく。

R5

0401　公共交通マップ（伊東駅周辺・伊豆高原駅周辺）や総合時刻表を作成し、市庁舎、伊東駅、伊豆高原駅に配架した。

0402　市内高校統合に伴い、バス事業者と連携して、高校生に向けモビリティマネジメント（バス利用説明会）を実施した。

0403　バス事業者と合同で乗り方教室（湯川保育園）を実施した。

0404　バス事業者と連携して、高校生に向け利用促進ツール（バス時刻表アプリ）の利用方法を周知した。

中間評価

0401（達成状況）**A**

（実績評価）・例年、バス事業者と協議し、市が支援する生活路線バスを含めた公共交通マップと総合時刻表を更新し、市内に配架してきた。

（今後の対応）・公共交通機関（バス・鉄道）を利用しやすい情報と生活・観光情報を合わせて提供することで利用促進を図るべく、Web連動型の公共交通マップの作成について研究していく。

0402（達成状況）**D**

（実績評価）・市内高校再編への対応を行うことで、円滑なバスによる登下校に資する取組を行った。

（今後の対応）・市内の人流が大きく変化する施設等の開業・開設や、イベントなどを注視し、公共交通利用に支障があることが想定される場合は、事前にバス事業者等と対応を協議していく。

0403（達成状況）**D**

（実績評価）・令和5年度は数年ぶりに「乗り方教室」を実施し、園からは好評であった。

（今後の対応）・バス事業者と協議し、通塾や習い事などによりバス利用が想定される南小学校以南の小学校等で実施するなどの検討を行っていく。

0404（達成状況）**D**

（実績評価）・モビリティマネジメント活動と併せて、バス事業者の時刻表アプリの利用促進を図った。

（今後の対応）・バス事業者に対し、時刻表アプリの高機能化や実運行との連動について要請をしていく。

※　令和３年度からの新規事業のため、基準値をーとした

05　観光移動での利用促進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2
		達成数	2	2	2	0	0
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	観光周遊の促進に向けた取組	取組回数	R2	目標値	1	1	1	1	1	回	都市計画課
			1回	実績値	1	1	1			以上	
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0502	観光に役立つ情報の提供	提供回数	R2	目標値	1	1	1	1	1	回	都市計画課
			1回	実績値	1	1	1			以上	
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価	
R3	0501 伊豆高原駅改札前に遠隔接客等のサービスを導入したサイネージ端末を設置した。
	0502 伊豆高原駅改札前のサイネージ端末を利用した遠隔接客等による交通・観光情報の提供を行った。
R4	0501 伊豆高原駅改札前に遠隔接客等のサービスを導入した端末を設置した。
	0502 伊豆高原駅改札前のサイネージ端末を利用した遠隔接客等による交通・観光情報の提供を行った。
R5	0501 伊豆高原駅改札前において、デジタルサイネージ端末を設置し、交通・観光情報の提供を行った。
	0502 伊豆高原駅改札前において、デジタルサイネージ端末を設置し、交通・観光情報の提供を行った。

中間評価	
0501（達成状況）	A
（実績評価）	・本市の観光拠点の一つである伊豆高原駅において、デジタルサイネージを活用して行先別のバス時刻表を表示するとともに、広域の観光交通情報等も発信することで市内外の周遊を喚起している。
（今後の対応）	・伊豆高原駅にはバスの案内所機能が無いことから、当該サイネージは継続するとともに、観光来遊客も使いやすい公共交通マップを作成し、パンフレットラックに配架するなど、情報へのアクセス性を高めていく。
0502（達成状況）	A
（実績評価）	・本市の観光拠点の一つである伊豆高原駅において、デジタルサイネージを活用して行先別のバス時刻表を表示するとともに、広域の観光交通情報等も発信するなど観光情報の提供を行っている。
（今後の対応）	・伊豆高原駅にはバスの案内所機能が無いことから、当該サイネージは継続するとともに、観光来遊客も使いやすい公共交通マップを作成し、パンフレットラックに配架するなど、情報へのアクセス性を高めていく。

担当課		建設課
政策目標	3	良好な環境が広がり快適に暮らせるまち
施策分野	7	道路環境の整備
目指す姿		市域において円滑・安全・安心・快適な道路環境が維持できている

施策３－７の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	16	16	16	16	16
達成数	9	8	6	0	0
達成率	56.3%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

指標数	2	2	2	2	2		
達成数	0	0	0	0	0		
達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

成果指標1	道路瑕疵による事故発生件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	0	0	0	0	0	件	建設課
		0件	実績値	2	5	3				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	良好な道路環境を保つために、道路パトロールの実施、計画的な修繕及び補修に関する市民要望への迅速かつ的確に対応して被害を無くす。									

成果指標2	幹線市道の整備率	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5	%	建設課
		95.7%	実績値	95.8	95.9	96.2				
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
目標値の考え方	幹線市道の狭隘箇所やすれ違い困難箇所などを解消し、良好な道路環境を創出する。									

R3年度	1（実績評価）	・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。
	（次年度修正点）	・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。
	2（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。
	（次年度修正点）	・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。
R4年度	1（実績評価）	・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかった。
	（次年度修正点）	・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。
	2（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。
	（次年度修正点）	・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。
R5年度	1（実績評価）	・市民からの要望に対し迅速な対応に努めたが、沿線樹木の倒木による事故が多数あり、目標値の達成には至らなかった。
	（次年度修正点）	・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。
	2（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。
	（次年度修正点）	・粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。
中間評価	1（達成状況）	D
	（実績評価）	・市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。
	（今後の対応）	・交通量の少ない市道の路面や沿道樹木の状態把握等に細心の注意を払い、良好な道路環境を目指す。
	2（達成状況）	B−
	（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。
	（今後の対応）	・引き続き、粘り強く用地交渉を行い、工事着手を目指す。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）				R3	R4	R5	R6	R7	
			指標数	14	14	14	14	14	※　基本的な取組・主な内容の達成状況
			達成数	9	8	6	0	0	
			達成率	64.3%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	

01　円滑な道路環境の整備	達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
		指標数	6	6	6	6	6
		達成数	2	2	1	0	0
		達成率	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101　道路交通量の把握	交通量調査実施回数	R1 0回	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	建設課
			実績値	0	1	0				
			評　価	×　未達成	○　達成	×　未達成				
0102　市道の利用に対する市民の声の把握	道路整備について満足している市民の割合	R2 47.4%	目標値	47.9	48.4	48.9	49.4	49.9	% 以上	建設課
			実績値	45.4	44.4	41.8				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0103　幹線市道の計画的な整備	整備延長（累計）	R1 88.4㎞	目標値	89.3	89.8	90.2	90.7	91.2	㎞ 以上	建設課
			実績値	88.5	88.6	88.9				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0104　渋滞の緩和対策の検討	県への要望回数（要望書として）	R1 １回	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	建設課
			実績値	1	1	1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0105　円滑な交通のための道路網整備	幹線市道の整備率	R1 95.7%	目標値	96.7	97.2	97.7	98.1	98.5	% 以上	建設課
			実績値	95.8	95.9	96.2				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				
0106　移住定住促進道路整備	年間整備延長	R2 0ｍ	目標値	0	200	200	200	200	ｍ 以上	建設課
			実績値	7	0	0				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価		
R3	0101	新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。
R3	0102	市民からの要望に対する迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。
R3	0103	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。
R3	0104	国道１３５号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞緩和対策のための要望を行っている。
R3	0105	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成には至らなかった。
R3	0106	各自治会の年次計画に沿って、交差点部の薄層カラー舗装を実施した。
R4	0101	交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施した。
R4	0102	市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。 今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R4	0103	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R4	0104	国道１３５号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。
R4	0105	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。 今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R4	0106	各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。 今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。
R5	0101	新規改良事業が無いため、交通量調査は未実施となった。今後も円滑な道路環境の整備のため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。
R5	0102	市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R5	0103	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R5	0104	国道１３５号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。
R5	0105	用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
R5	0106	各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。

中間評価		
0101	（達成状況）	C
	（実績評価）	・交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施した。
	（今後の対応）	・今後も円滑な道路環境の整備ため、交通量の多い狭隘道路の交通量調査を実施する。
0102	（達成状況）	D
	（実績評価）	・市民からの要望に対し迅速な対応及び幹線道路等の整備を推進したが、目標値の達成には至らなかった。
	（今後の対応）	・今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
0103	（達成状況）	B-
	（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。
	（今後の対応）	・今後も用地取得に努め、幹線市道の計画的な整備を行っていく。
0104	（達成状況）	A
	（実績評価）	・国道１３５号の川奈・吉田地区間及び八幡野地区の交通渋滞解消のための要望を行った。
	（今後の対応）	・引き続き、渋滞の緩和対策について国県へ要望していく。
0105	（達成状況）	B-
	（実績評価）	・用地取得困難箇所以外は、整備を行うことができたが、目標値の達成に至らなかった。
	（今後の対応）	・用地取得の困難な状況があるが、今後も用地確保可能な箇所から整備を進めていく。
0106	（達成状況）	C
	（実績評価）	・各自治会の年次計画に沿って、移管手続きを進めたが、実施に至らず、整備をすることができなかった。
	（今後の対応）	・今後も各自治会と調整を続けながら整備を進めていく。

02 道路施設等の適切な維持管理の推進

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	6	6	6	6	6
	達成数	6	6	5	0	0
	達成率	100.0%	100.0%	83.3%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 路面の破損箇所等の早期発見・早期補修	道路パトロール実施回数	R1 24回	目標値	24	24	24	24	24	回以上	建設課
			実績値	28	26	26				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0202 道路パトロール等による早期発見・早期補修	修繕等の処理率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
			実績値	100	100	100				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0203 舗装長寿命化のための計画的な修繕（累計）	修繕延長	R1 1,373m	目標値	1,873	2,373	2,873	3,373	3,873	m以上	建設課
			実績値	4,040	4,786	5,343				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0204 交通安全施設の設置	防護柵、標識等の交通安全施設設置工事発注件数	R1 2件	目標値	2	2	2	2	2	件以上	建設課
			実績値	4	4	3				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				
0205 道路施設の長寿命化（累計）	修繕橋りょう数	R1 21橋	目標値	41	46	51	56	61	橋以上	建設課
			実績値	42	49	50				
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成				
0206 先進技術の活用	活用工法数	R2 0工法	目標値	1	1	1	1	1	工法以上	建設課
			実績値	1	1	1				
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成				

年度評価

R3

- 0201 月２回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。
- 0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。
- 0203 土質調査等を行い、工法検討した結果、目標値を上回る延長を修繕することができた。
- 0204 市民要望やパトロールなどにより発見した危険箇所の整備を推進することができた。
- 0205 同一地域でまとめて発注することができたため、計画を上回る実績とすることができた。
- 0206 ＩＣＴ土工（情報通信技術）を取入れ、施工効率の向上を図った。

R4

- 0201 月２回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。
- 0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。
- 0203 城ケ崎線舗装改良工事にて、延長L＝745.5m施工を行い、目標値を達成することができた。
- 0204 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。
- 0205 同一地域でまとめて発注することができたため、計画を上回る実績とすることができた。
- 0206 道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。

R5

- 0201 月２回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。
- 0202 速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。
- 0203 城ケ崎線舗装改良工事にて、延長L＝557m施工を行い、目標値を達成することができた。
- 0204 市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。
- 0205 同一地域でまとめて発注することができたが、目標値を達成することができなかった。今後とも道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。
- 0206 道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。

中間評価

0201（達成状況） **A**

（実績評価）・月２回の定期パトロールを市内全域で行い、早期発見・補修を行うことができた。また、大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握に努めた。

（今後の対応）・月に２度の道路パトロールを実施し、危険箇所については修繕等の処理を実施しているが、道路パトロールから修繕までの方法等を見直し、危険箇所のより迅速な対応を図る。

0202（達成状況） **A**

（実績評価）・速やかな報告、現場確認及び業者依頼を行い、適切な維持管理に努めることができた。

（今後の対応）・引き続き、道路パトロール等による早期発見・早期補修、適切な維持管理に努める。

0203（達成状況） **A**

（実績評価）・城ケ崎線舗装改良工事にて、目標値を達成することができた。

（今後の対応）・引き続き、舗装長寿命化のための計画的な修繕に努める。

0204（達成状況） **A**

（実績評価）・市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行い、目標値を達成することができた。

（今後の対応）・引き続き、市民要望や道路パトロールなどにより発見した危険箇所の整備を行う。

0205（達成状況） **B−**

（実績評価）・同一地域でまとめて発注することができたが、令和5年度は目標値を達成することができなかった。

（今後の対応）・今後とも道路施設の適切な維持管理に努め長寿命化を図る。

0206（達成状況） **A**

（実績評価）・道路反射鏡の基礎工において、ポールアンカールーツを取入れ、施工効率の向上を図った。

（今後の対応）・今後も先進技術を取り入れていく。

03　安全で快適な歩道空間の推進

達成状況							
指標数	2	2	2	2	2		
達成数	1	0	0	0	0		
達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 歩道のバリアフリー化の促進	バリアフリー化路線数	R1 10路線	目標値	12	14	16	18	20	路線以上	建設課
			実績値	12	12	12				
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成				
0302 歩道のバリアフリー化に関する市民の声の把握	歩道のバリアフリー化実施率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
			実績値	0	0	0				
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成				

年度評価

R3	0301 横断歩道設置に伴う歩道の切下げにおいて、バリアフリーを考慮し施工した。
	0302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かった。
R4	0301 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。
	0302 タウンミーティング等で歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かったが、今後もバリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。
R5	0301 民地側において物理的に困難な箇所があり、バリアフリー化が進まない状況である。歩道のバリアフリー化の必要路線の調査を行い、歩道整備の推進を図っていく。
	0302 歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かった。

中間評価

0301（達成状況）	C
（実績評価）	・歩道のバリアフリー化については、民地側において物理的に困難な箇所があり、バリアフリー化が進まない状況である。
（今後の対応）	・歩道のバリアフリー化の必要路線の調査を行い、歩道整備の推進を図っていく。
0302（達成状況）	—
（実績評価）	・歩道のバリアフリー化に関する市民要望は無かった。
（今後の対応）	・引き続き、バリアフリー化の必要路線の調査を行い、安全安心な歩道整備の推進を図る。また、市民の声を拾い上げる方法を検討していく。